

入口（鼠木戸と大木戸）

かつて劇場には観客の階級に応じ、3つの入り口が使用されていました。一般客向けの入り口は劇場の中央に位置し、鼠木戸と呼ばれています。無銭観覧者のでないよう、全ての観客が料金を支払って観劇するように、かがんだ状態で1人ずつしか入れないほど、入り口は非常に狭く低く作られています。これが「鼠木戸」の由来です。

その他に、劇場の正面に2箇所入り口があります。左手にあるのが大木戸、右手にあるのが御用木戸です。それぞれ、大木戸は入場料の高い観客用、御用木戸は社会的身分の高い観客向けの入り口です。